

# シャロンの花だより

25期 主題：新しい歌を主に向かって歌おう

・・・ 喜び・祈り・感謝と共に ・・・

「あなたのしようとすることを主にゆだねよ。

そうすればあなたの計画は揺るがない」箴言 16章3節



## 巻頭言

### 『ヨブという生き方』



ウイルスにより教会の活動を停止して3年、宣教における想定外の出来事を体験しました。集まらないのではなく、集まらないことを選択したがゆえに、分かち合いの場が損なわれました。これは教会の痛みであり、教会生活での苦痛となりました。

集まらない中で教会の存在価値が問われました。週ごとに御言葉を語り、御言葉を届けることが教会の使命であることに改めて気づかされ、ウイルス危機が転じて教会の悔い改めの機会とされました。

かつて、私たち教会は考えられる限りの宣教をしてまいりました。国内、国外を問わず、与えられた人々との出会いを通り過ぎず、その場その場に立ち止まって共に生きてまいりました。ウイルス危機以後のこれからの宣教が元に戻ることはありません。私たちは何をしたいのかではなく、何をなすべきかです。宗教改革によって歩み始めたルーテル教会として、時代を越えて、あるいは時代に即して、あらゆることに取り組んできた教会にとって、残された業は再び悔い改めることであると実感しています。

そこで、皆さんはヨブという聖書の人物をご存じでしょうか。ヨブ記に登場する、あのヨブです。ヨブ記1章1節では、「無垢な正しい人で、神を畏れ、悪を避けて生きていた」と紹介されています。物語は神とサタンの密約から始まります。神が認めたヨブに対し、サタンはヨブの信仰を試みる許しを神から得ます。ヨブには何の理由も知らされず、試練が訪れ、災難が降りかかります。こうしてヨブはすべてを失うばかりか、ヨブ自身も全身皮膚病におかされます。

蒲田教会牧師：永吉秀人 '23.04.15時点  
現 東京池袋教会牧師

そこへ3人の親友が慰問に訪れます。友は言う、4章7節、「考えてみなさい。罪のない人が滅ぼされ、正しい人が絶たれたことがあるかどうか」と。ヨブは答える、6章29節、「考え直してくれ、わたしの正しさが懸っているのだ。わたしの舌に不正があるか」と。友との議論は繰り返されますが、心身共に瀕死の状態であるヨブに勝ち目はありません。

ようやく神ご自身がヨブに語られます。38章1節、「主は嵐の中からヨブに答えて仰せになった。これは何者か」と。ヨブは答える、42章5節、「あなたのことを、耳にしてはおりました。しかし今、この目であなたを仰ぎ見ます。それゆえ、わたしは塵と灰の上に伏し、自分を退け、悔い改めます」と。ヨブは待ち焦がれていた神の言葉に触れられ、悔い改めます。正しい人ヨブが悔い改めたのです。癒され、祝福されたヨブが神を見たわけではありません。人として見る影もなく損なわれたヨブが神を見たのです。これはまだヨブの物語の結末ではありません。42章7節、神はヨブの友たちのあやまちを告発し、ヨブによる執り成しを求めます。友たちは神の言葉に従い、彼らが責めた姿のままのヨブが執り成すのです。こののち、ヨブは癒されます。

ルターによれば、キリスト者の務めは生涯悔い改めることであるのです。正しく生きる者をも悔い改めに導く神がおられます。

ープロフィールー

福岡県久留米市出身。久留米教会、天王寺教会を経て献身。旧藤枝教会、神学校チャプレン、静岡教会、天王寺教会を歴任、現在は蒲田教会。釜ヶ崎ディアコニア・センター 喜望の家 後援会会長。趣味は登山。

※'23年5月全体総会にて総会議長に就任。

# 世界祈祷日オンライン東京集会 2022.3.5 於 深川バプテスト教会 「イングランド、ウェールズ、北アイルランドからのメッセージ」

## 「わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている」

藤本 忍牧師\*大師新生教会 日本バプテスト同盟



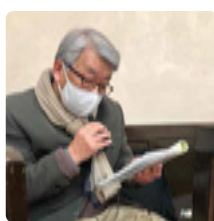
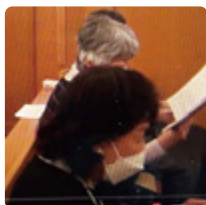
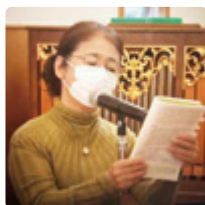
捜真女学校中学部・高等学部宗教主任、大師新生教会協力牧師。大学卒業後、社会科教員として10年勤務。退職後、神学部で学ぶ。2007年2月17日受按、協力牧師。趣味:青い空の下、神が創られた被造物を眺め、心癒すこと。(時々、癒されないこともある(笑))



コロナ禍で接触が制限された2019年、2020年。「いじめ」は減少した一方、中学生や大学生、特に女性の自殺が増えました。感染防止策が関係性を分断し、孤立を深めた結果です。授業はオンライン、登校時は「黙食」と、社会的つながりが制限されました。友人関係を築けなかった高校生たちは、「寝食を共にしながら話したい」「心を開いて相

手の話を聞きたい」と望みます。「傷つくことは人間の証明」「弱さは誇り」といった価値観に触れ、ありのまま受け入れられることを求めています。

災いの時こそ、祭司たちはバビロン捕囚期にモーセ五書を編纂し、パウロは牢獄で賛美と祈りを捧げました。同様に、私たちも主をあがめ、その喜びを声に出すべきではないでしょうか。神の平和に参与するとは、分断や亀裂に橋を架けること。英語の「bridge」には「繋ぐ」という意味があります。ユダヤの民と神を繋いだエレミヤ、人間と神を繋いだイエスさまのように、それぞれの場で分断を繋ぐこと、汝の敵を愛することこそ、神の平和に参与することではないでしょうか。



## 第2部\*ヴァイオリン&ピアノによるミニ・コンサート

### 船山さんのこと

滝沢 峰子\*蒲田教会



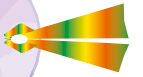
今回、演奏家としてお忙しい中で東教区女性会秋の集いでの演奏を快諾してくださり感謝いたします。蒲田教会オルガニストとして月に1,2度パイプオルガンの奏楽と、奉献の際に献金袋を廻す間、バイオリンを奏でるご奉仕に私達は「至福」の時間を与えられて、コロナ禍は特に心に染み入るようでした。ご家庭では二人のお嬢様の優しいお父様。教会の「会計」の大役、奥様も献金の集計含め、いつもご一家で教会のご奉仕を担ってくださいます。

教会では彼と冗談ばかり言い合う間柄であり、改まっでの「紹介」は少々照れくさいです。

## 第4回 秋の女性の集い 対面・オンライン開催 2022.10.8 於 東京教会

### 「音の調べによる心の癒しを求めて」

※当日配付の集いプログラムをご参照ください  
ご希望の方にはデータ送付可能です



## 第1部\* 「神の恵みを生きよう」オンラインメッセージ

坂本 千歳牧師\*八王子教会



私は2016年に自己研修のため、一旦、ルーテル教会の牧師を退職いたしました。そして2年間の間、当時JELAが主宰していた「リラ・プレカリア(祈りのたて琴)」研修講座を受講しまして、研修終了後、2018年の春から、東京都内のカトリック病院で週に一度、終末期の患者さんのベッドサイドでハーブによる看取りの奉仕をさせていただいております。…中略 ※(第4回プログラム) …「一生懸命やったけど、それがうまくできたかどうかは、わからない」という(シスターの)言葉は、単に、物事を達成できたか、成果をあげられたか、ということではなく、神に造られた私自身として十全に生きているか、神が私に備えてくださった賜物の全てをしっかりと開花させて物事に取り組んでいるか、という意味をもっていると思うのです。神の恵みの数々に気づかずに(気付いていても?)放置している自分自身が



います。それにもかかわらず、恵みは畑の中に隠された宝のように、今も、私たちの中にあるのだから、ちゃんと見つけ出し、掘り出して、大切に、しっかり活かさないという聖書のみ言葉と、あのシスターの最後の言葉が、私を励まし日々の働きへと押し出してくれているのです。



\*コロナ禍で集うことが大変な日々が続きましたが、広々とした空間に身を委ね「み言葉と豊かな音の調べ」に癒された忘れがたいひと時を覚えて感謝します。(文書担当)

## ◆プログラム

「四季」より春 ■ 無伴奏パルティータ第3番 ■ 愛の挨拶 ■ 夜空ノムコウ ■ 見上げてごらん夜の星を ■ 上を向いて歩こう ■ 里の秋 ■ ふるさと ■ 千の風になって ■ アンダンテ・カンタービレ ■ チャール・ダーシュ ■ かがやく日を仰ぐとき



**船山 嘉秋**(ふなやま よしあき)  
1984年東京藝術大学器楽科卒業。'82年より東京ヴィヴァルディ合奏団団員。'86年(財)ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉(千葉交響楽団)入団。1990年(財)アフィニス文化財団奨学金を得てウィーン国立音楽大学に留学。'92年帰国、翌年より(公財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団へ移籍、現在に至る。オーケストラ活動と室内楽演奏、後進の指導も力を入れている。ヴァイオリンを杉原淑子、海野義雄、阿部 靖、H・ビンダー、各氏に師事。2005年よりパイプオルガンを永見亜矢子氏に師事。日本福音ルーテル蒲田教会オルガニスト。



**佐藤 裕子**(さとう ひろこ)  
ピアニスト、ピアノ講師、音楽企画。音楽協会「シュガーハウス」を主宰し、ピアノソロ、室内楽を中心にサロンコンサートを数多く企画。コロナ禍以降降生演奏、YouTubeによる配信演奏も積極的に行っている。桐朋女子高等学校音楽科ピアノ科・同大学卒業。同大学室内楽研究科終了。ウィーン国立音大を最優秀賞を得て、首席で卒業。イタリアの「カルロ＝ソリーバ国際コンクール」室内楽部門第一位。多摩フレッシュコンクールピアノ部門第二位。現在、宮地楽器専科コース講師、上野学園非常勤講師。

アジア教会婦人会議日本委員会 オンライン一日研修会 2022.11.25 於 救世軍  
「主によって新しくされて」～キリストと共によみがえる～ 杉並小隊

\*説教:「キリストにおいて一つになって」

西村 和江 少佐 救世軍 軍国女性部書記/医療部長

「そこではもはや、ユダヤ人もギリシア人もなく、奴隷も自由な身分の者もなく、

2022年11月当時:少佐

男も女もありません。あなたがたは皆、キリスト・イエスにおいて一つだからです」 ガラテヤ 3:28

2024年現在:大佐補

ーバングラデシュの女性たちによって作成された式文から思い巡らす今年のテーマー



- ①女性も男性もなく、神の形としてつくられた私たち
- ②女性も男性も同じ一つの希望を与えられたものとして喜びに満たされて生きるものへ
- ③このことの実現のためにキリストによって新たにされる
- ➔ルツ、ナオミの生きた時代に目を向ける
- ④男性が優位とも思える時代に強く生きた女性たち
- ⑤命をつないでいった女性という存在の貴さ
- ⑥そこに働き、憐れみと慈しみを示す神の存在
- ⑦律法

本来の目的、人を生かすための規律が確認される

➔ポアズによってキリストの贖いが示される ➔女性たちの置かれている現状はどのようなものか ➔文化、社会により形作られた女性像、役割に縛られていないか ➔ありのままであることを妨げているものは何か

⑨女性も男性も神がよしとされたすばらしい存在として互いに高めあい、一つの希望に向かって新しく生まれるということに神は私たちに求めておられる

西村和江:2005年救世軍士官(牧師にあたる)となる。群馬、栃木、広島の小隊、保育園、児童養護施設に従事。2011年から10年間、東京の救世軍医療部病院、老健、特養のチャプレンとして患者、家族、職員のスピリチュアルケアに従事。2019年 軍国女性部書記、2022年より医療部長を兼務。

\*発題:「ジェンダー平等への試み」ーバングラデシュ BDP小学校での実例ー

井上 儀子氏 認定NPO法人アジアキリスト教教育基金(ACEF)元事務局長 日本基督教団 浦和東教会

【ACEF】Asia Christian Education Fund

1990年BDPと共にバングラデシュの教育支援活動を開始

【BDP】Basic Development Partners

バングラデシュのNGO教育の重要性を説き初等教育を開始

【18歳未満の女子・結婚時の学歴】

1994年:無教育の女子51%、2019年少なくとも中等教育

① BDF小学校教師に女子を採用

①婚期を遅らせるため中学生を採用/村在住高卒の母親を採用

②誇りを持ち、いきいきと発言し生きられるようになった

② BDF小学校で料理教室

①保守的な男性の反対で中止。男性職員で台所を手伝う人も

③ 教室での男女同席/ジェンダー平等へチャレンジ

④ 女子のコンピュータクラス開校2003年

①ダッカ市ではなく農村地域で女子にチャンス

②男女各10名の募集へ300名が応募

⑤ マイクロファイナンス開始 2021年～ 返済率100%

①無担保で少額の資金を用立てる金融システム

②在校生の母親対象:茶店/ヤギの飼育/ミシン購入/小売店/瓜農

園/渡し船

⑥ バングラデシュのジェンダー課題

正の側面▶女子就学率/女性首相/クォータ制導入

①8年生まで女子の方が就学率・修了率が高い 2011年以降

教育のための食糧計画/女子の奨学金給付:現金100タカ支給/学費:高校卒業まで無料

②女性首相:1991年より与党・野党の女性党首が交互に

シェイク・ハシナ現首相(2009年～)

③クォータ制導入(女性の割合の一定化)

国会350議席中50議席が女性に割当/縫製業雇用/政治・官僚・企業家など女性が活躍

負の側面▶児童婚/児童労働/DV・女性への暴力

①15歳未満児童婚率世界1位・18歳未満児童婚率世界4位

②レイプ/児童婚/持参金に対する暴力/ストーカー行為/セクハラ

▶世界のジェンダー平等指数ランキング(2022年7月)

世界146カ国中:バングラデシュ 71位、日本116位

▶日本のジェンダー平等も実現しましょう!

個人の尊厳が守られ、共生の喜びが感じられる社会を目指して



“教会手帳とメッセージカード”を神学生のみなさんへ…



仕事を終えて神学生への教会手帳とメッセージカードを手三鷹のキャンパスを訪ねました。昼間の、特に行事がある時の喧噪とは打って変わり、静けさに包まれたキャンパスを学生支援センター(トリニティホール)へと歩く道すがら、コロナ禍での神学生たちの学びについて思われました。学生寮が使えなくなり、住まいを移しての授業のカリキュラム、教会実習と宣教研修準備など含め、思うに任せないことも多々あると想像しながら、夕暮れの移りゆくグラデーションに浮かぶチャペルの美しさに、神学生と学生たちが神様の御手の内にある平安と守りと導きをいつも感じながら学び舎で過ごせますように祈りました。健やかでかけがえの無い生き生きとした日々を願いつつ。

# ❖監査報告【25期東教区女性会会計 2022年度決算・2023年度予算案】

2022年度(2022年1月1日～12月31日)東教区女性会会計決算、2023年度予算について監査結果をご報告いたします。

1. 監査日時:2023年2月4日(土)10時30分～14時00分
2. 大岡山教会
3. 監査人:成田 節子姉(第25回教区女性会総会選出)、天木 鈴子姉(第25回教区女性会総会選出)
4. 立会人:滝沢 峰子(教区女性会会計)

## 収支決算・予算(案) 2022年度決算/2023年度予算(案)

### 東教区女性会 25期

単位:円

■支援献金 内訳(2022年)

■連盟送金 内訳(2022年)

費目	2022年度		2023年度	2022年度内訳
	予算	決算	予算(案)	
東教区会費	480,000	434,400	480,000	1,200円×362人
教区便り講読費	20,000	18,400	20,000	100×184部
教区活動支援献金	100,000	81,900	100,000	17教会
感謝献金	50,000	225,460	50,000	13教会 秋の女性の集いへの献金
コーヒーショップ	60,000	0	60,000	コロナ感染拡大のため中止
雑収入	500	18	500	普通・定期預金利息等
小計	710,500	760,178	710,500	
前年度繰越金	1,686,481	1,686,481	1,811,309	
収入合計	2,396,981	2,446,659	2,521,809	
教区便り	100,000	68,896	100,000	印刷・発送等
会議費	100,000	121,762	100,000	会場費、牧師、オルガニスト謝礼
交通費	200,000	10,440	200,000	役員会・会長会
教区交流費	100,000	0	100,000	コロナ感染拡大のため実施せず
地区活動費	120,000	33,740	120,000	城南神奈川地区、甲信地区 交通費
次世代育成支援金	80,000	71,200	80,000	TNG活動支援・神学生への手帳
通信事務費	20,000	13,624	20,000	事務用品・郵便・通信
慶弔費	10,000	0	10,000	
予備費	10,000	0	10,000	
支援献金	200,000	200,000	200,000	ほしくずの会・東京老人ホーム ブラジル伝道・ベタニヤ/千葉ベタニヤホーム・神学校
連盟総大会積立金	100,000	0	100,000	
東教区総会積立金	50,000	92,080	50,000	
コーヒーショップ	10,000	0	10,000	コロナ感染拡大のため実施せず
雑費	5,000	23,608	5,000	振込手数料等
仮受金	0	0	0	
小計	1,105,000	635,350	1,105,000	
次年度繰越金	1,291,981	1,811,309	1,416,809	
支出合計	2,396,981	2,446,659	2,521,809	

支援先	金額	連盟会費	941,200
ほしくずの会	30,000	会報購読	97,600
東京老人ホーム	30,000	連盟支援	84,000
ベタニヤホーム	20,000	感謝献金	91,800
千葉ベタニヤホーム	20,000	サバ支援	164,400
ブラジル伝道	20,000	リーストコイン	21,463
神学校	80,000	TNG	55,500
合計	200,000	ACWC	0
		合計	1,455,963

### 現金・貯金・残高

通常郵便貯金	2096,506	次年度繰越金	1,811,309
定額・定期	500,000	積立金残高	800,000
現金	14,803		
合計	2,611,309	合計	2,611,309

(2022年12月31日 現在)

### 連盟総・大会 教区総会積立金

積立金会計	収入	支出	残高
連盟総・大会積立金	450,000		450,000
22年度積立			
教区総会積立金	257,920		257,920
22年度積立	92,080		92,080

合計 800,000

\* 定期・定額預金(旧)19期 用いたまえ愛の主よ基金 500,000円



## 湯河原教会: 青い目の良寛さんと羽釜の洗礼盤

■ JR湯河原駅下車、隈研吾設計駅舎(湯河原温泉の手湯あり)を抜け、正面道路を左折。次の信号を左折、道なりに歩くこと10分で到着。教会手前は獅子文六の疎開先の別荘～保養所～ホテル～創価学会文化会館が隣地に6年前建設。

■ さて教会の秘蔵お宝大公開！この地で開拓伝道されたポーマン宣教師が東京の戦災孤児たちに海水浴を楽しんでもらおうと湯河原へお泊り招待した時に使った大きなお釜が、会堂改築時に屋根裏から出てきました。町の人たちから「青い目の良寛さん」と慕われたポーマン師の篤い働きを覚えて、お釜は今、洗礼盤になっています。先生は礼拝堂横に風呂場まで作り、婦人会の皆さんが一生懸命奉仕されたそうです(当時は東海教区所属)。

■ 湯河原教会は墓地を持っています。教会から車で10分、真鶴駅からは車で5分、吉祥公園墓地内の一角にあり、晴天なら相模湾～真鶴半島～初島～大島～利島～新島まで見えます。教会関係者ならどなたでもご利用できます。(牧野より)



羽釜の洗礼盤



## 東京教会: 新宿副都心に咲く癒しの花

■ JR「新大久保駅」徒歩5分・「大久保駅」徒歩9分、都営大江戸線・副都心線「東新宿駅」徒歩7分。新宿副都心の教会前大久保通り沿いは、平日も様々な年齢層が行き交い活気があります。韓流ドラマ、Kポップブームで、多国籍の飲食店、食品・雑貨の店が建ち並びこの地域は異国情緒満載ですが、路地に入るとほっこりする光景に和みます。教会裏手の住宅街には地元住人の地域猫活動で保護された猫たちが(教会横壁側も)気持ち良さそうに日向ぼっこをしています。

■ その小路を職安通り方向へ5分程進むと小泉八雲記念公園があります。園内は八雲の胸像や碑が置かれ、出身地ギリシアのイメージで白を基調に石柱やタイルが施された憩いの場になっています。

■ 礼拝堂聖壇の十字架は4つのステンドグラスと共に、ドイツのクロンク氏により制作されたもので「赦し・復活・派遣・祝福」の中央に床から立ち上がり据えられています。(島田より)



## むさしの教会: 100年の記憶のかたち

■ 1925年: 中野区鷺宮、東京郊外の田園地帯にルーテル神学校が開校され、1958年: 神学校の通り沿い徒歩2分の現在地へ神学校教会(むさしの)が移転。1969年: 三鷹へ現神学校が新たに移転。敷地跡にマンション四棟が立つ中庭の当時からあるヒマラヤスギの下では、毎年クリスマスイヴ音楽礼拝後に、マンション理事会運営で合同キャロリングが行われます。

■ 2021年: コロナ禍中に教会の修繕工事が実施され、

りました。1886年: 刻印された鐘の来歴とは…現在専門家を通してその糸口を探っています。

■ 1954年から続く夏の風物詩「阿佐谷七夕まつり」。日本三大七夕まつりとしてJR阿佐ヶ谷駅前アーケード型商店街では商店会・一般参加の巨大な張りぼてが名物です。当教会有志もTVアニメで人気のスポンジボブを制作、参加。教会内外からの好評に気を良くし有志たちが、今回は複数グループ参加の予定です。(八木より)

もっと、知りたい…地区のこと、共同体的なこと、お隣のこと

## 飯田教会:丘の上のフィンランドミッション\*

わたしたちの、教会&周辺で…こんなこと、あんなこと



■「丘の上」と呼ばれる飯田市の市街地にある飯田教会と飯田ルーテル幼稚園。教会前の通りは近年整備され、「春草通り」と呼ばれています。

■教会前を東へ200メートル程行くと、明治期の日本画家、菱田春草生誕地公園へ。さらに進むと、かつて遊郭があった場所に行きあたります。当教会の発祥が、フィンランドの宣教師夫妻らによる、遊郭で働く弱き立場の女性たちを助ける働きであったことに想いを馳せることができます。



■春草通り沿いは、天神様、下伊那教育会館、民俗学者の柳田国男が養子に入った柳田家跡、旧高野医院(産科)、診療所とリハビリ施設併設のサービス付き高齢者住宅(市内の病院が創設)、児童養護施設などが並び、教育、医療、福祉の施設が集約されています。120年前この地をミッションの場として選ばれた神様の恵みとご計画を覚えずにいられません。(神庭より)

## 蒲田教会:創造主の天然の恵み・心からリフレッシュ\*



天然温泉 nu-land

■「同じ釜の飯+同じ湯に浸かる間柄」…蒲田教会斜め向かいの「天然温泉ヌーランド nu land」は、礼拝や各種行事後に、教会員が気軽に利用しています。天然黒湯の温泉と楽しいおしゃべり・飲食で、心身共にリフレッシュできる好立地の恵みに感謝します。みなさまお越しの際は、ぜひお試しあれ。

■当教会でDIYの見識実績豊かな方々が土木部・園芸部員として、教会/幼稚園の様々な維持管理を担当されています。園児用の下駄箱から教会内外の大きな修繕、環境整備まで、見事な腕前に全幅の信頼が寄せられています。



■正門から続く桜の木々は近隣にも四季の移り変わりをお裾分けしており、園庭の枇杷、サクランボ、ぶどう等の果樹や薔薇のアーチは、日々の生活の中で園児たちに季節の変化を知らせてくれます。(滝沢より)

## これからのかたちを探して\*



## 世界祈祷日オンライン東京集会

2023.3.3 於 救世軍山室軍平記念ホール

### 「台湾からのメッセージ」

## 「あなたがたの信仰について聞いています」



### とりなしの祈り

憐れみ深い神さま、台湾は大国間の抗争に長い間巻き込まれています。何十年もの間、国際的に孤立しています。国際社会から公に認められなくても、台湾は、農業、テクノロジー、医療、そして人道支援において、世界中の人びとを助けるために、できる限りの努力をしてきました。

聖霊なる神さま、先の見えない将来を生き抜くために、強さと知恵を台湾の人びとに与えてください。台湾が、世界の喜びとなることをわたしたちは信じます。

慰め主なる神さま、あなたはこの世界の主です。わたしたちはあなたにより頼み、わたしたちと台湾をあなたにささげます。弱さの中にいるわたしたちを見守っててください。あなたはわたしたちの砦であり、安らぎです。

創造主なる神さま、天然資源の豊かな、この素晴らしい世界を、わたしたちに委ねてくださることを感謝します。それにもかかわらず、わたしたちは母なる大地の叫びを無視し、さまざまな環境問題に直面しています。大気汚染や水質汚染、廃棄物の処理問題、山の乱開発、生息地の破壊、気候変動などです。いのちの神であるあなたの優しさで、わたしたちの心を満たし、母なる大地を守れるよう導いてください。

恵み深い神さま、新型コロナウイルス感染症は、今も大きな課題です。愛する人を亡くした人びと、そして苦しみからの救いを見出せない人びとのために祈ります。恵み深い神さま、2020年に世界的流行が始まり、厳しい状況が続く中でも、わたしたちを導いてくださいました。世界祈祷日台湾委員会によって、2023年の今日、この礼拝を共にすることができ、感謝します。彼女たちは神さまの恵みによって違いを乗り越え、ひとつとなり、一致へと導かれました。主よ、キリストにある一致への道へと、わたしたちも導いてください。

## 第5回 春の会長会&女性の集い 対面・オンライン開催 2023.6.24 於 三鷹教会

### 「つながるI/教会・連盟・サバ神学院・ルーテル神学校/立体的に生きる」

※当日配付の集いプログラムをご参照くださいご希望の方にはデータ送付可能です



### 「アジアからの風」

5月の全国総会でカンボジア宣教へ向かうことが決まりました。具体的なことはこれからですが、ボランティア派遣や献金の呼びかけなど、人的交流と財政的支援の検討がなされています。

女性会連盟ではマレーシアのサバ神学院への支援を30年前から続けて来ました。「会報」(165号)にその紹介が掲載されています。地図を見て、サバはボルネオ島の東部、インドネシアに隣接していることを知りました。そのインドネシアには、600万人の会員を有するHKBP(ハカベペ)教会(Huria Kristen Batak Protestan)があります。その訪問団が5月9日～16日に来日され、JELAや神学校を見学し交流が持たれました。聖パウロ教会の主日礼拝では、デオナル・シナガ牧師よりみ言葉の説教を頂きました。

東教区女性の集いでは、「つながる」～女性会のこれから～と題し、本日、話し合いの時間が持たれます。女性会のこれからは心配する声も聞かれますが、それ以上に現実社会の厳しさの中で、女性たちが切実につながりを求めながらも、互いにつながり合うことができず、分断され、孤独となって、困窮している声を耳にします。そして、私自身もその一人だと思ふことがあります。

### 小勝 奈保子牧師\* 聖パウロ教会

戦後、女性の生き方は大きく変わりました。世代間で価値観にも大きな差があり、分かり合うことの難しさを感じます。けれども、そうした違いの中であって、真の一致は、キリストのみ言葉にあることにいつも引き戻されるのです。

理解し合うためには、互いの声を受け取ろうとして聞き、伝えようとして話すことが大切です。私と母との会話でも、聞いてはいるけれども、話してはいるけれども、一方通行ということがよく起こります。私たちは自分の思いには敏感ですが、相手の思いには鈍感です。私たちは違う人間同士ですから、自分の思いより相手の思いに気づけないというのは自然なことだろろうと思います。そうであれば、より一層、相手の思いに心を向けて聴こうとしなければ、分かり合えるものではありません。聴いてもらえたが、分かり合えたにつながっていくのです。…中略。

今回の集いは、女性会の休会も増え課題もあって話し合うのですが、しかし、課題に意識を向け過ぎますと、相手の思いに気づけず見落としてしまうことがあります。聴いてもらえたが、分かり合えたにつながっていくのです。そして、意見は異なり、たとえ分かり合えないとしても、キリストにおいて命はつながり合っています。

8 アジアからの風を受け、新たな命の息吹を頂きましょう。





## 交流タイム\*どうつながりどうつなげるか

女性会連盟は2029年、創立100周年を迎えます。東教区女性会役員会では、将来へ向け希望を持ち前進できるように集いの交流タイムを企画しました。各女性会の取り組みや高齢化・会員数減少などの課題共有から、今後のビジョンへ繋がる話し合いを目指して、前半:6グループの分団協議、後半:全体発表&自由な意見交換を以下のように共有をしました。

### 4. コロナ後の復興

■集会や交流の再開を進め、縮小した活動を回復させる。■ハイブリッド形式やオンライン礼拝を活用し、地方と都市部の連携を強化。

### 5. 教会の組織運営

■役員の選び方を見直し、次世代へバトンを渡せる体制を整える。■信徒がチームを組み、教会運営を分担する形も検討。

### 6. 特別な集まりやイベント

■イースター、クリスマス、サマープログラムなど、全員が集まれる機会を大切に。■地域社会と連携し、外国籍の方や新しい来会者を歓迎する体制を作る。

### 7. 対面交流の重要性

■対面で話し合える場を提供し、教会内で安心して意見交換できる環境を整える。■個々の顔が見える関係を築き、信頼を深める。

### 8. 休会中の教会への支援

■現状を把握するため訪問し、必要な支援を検討する。  
以上の方向性を基に、具体的な計画や活動をさらに進めていくことが今後期待されます。

### 1. 女性会の役割と存続

目的: ■み言葉に養われ、祈り、福音を分かち合い、隣人を愛する奉仕を続けること。■女性会の存続を重視しつつ、男性も参加できる形にする。■性別に関わらず、全信徒が自由に参加し、共に信仰生活を送れる体制が理想。

### 2. 活動の在り方

■個々の意見を述べ合う場を継続し、信徒全体で話し合う時間を確保する。■全員が少しずつ協力できる仕組みを整える。活動が特定の人に偏らないよう配慮。■女性会という枠組みにとらわれず、信徒全体で交流する集まりも検討。

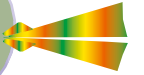
### 3. 若い世代と子どもへのアプローチ

■若い世代や子どもが楽しく参加できる活動を増やす。■教会を「楽しい場所」と感じてもらえる工夫をする。

## サバ神学院 神学生支援アンケート結果

—当日の話し合い参考資料—

教会名	支援	財源	交流	提案
千葉教会	○	指定献金でなく必要に応じて女性会献金から	○	サバ神学院というよりサバ神学生への支援にしたい/教会全体への呼びかけがあったほうが良い
市川教会	○	サバからもう支援しなくても良いと役員から聞いた	×	みなさんお年を召されていていらっしゃれない
稔台教会	○	支援を望んでいるところがあるなら少しでも役立ちたい	○	それぞれが無理をせずできる範囲の支援を続けていきたい
聖パウロ教会	×	ルーテル学院・ルーテル神学校存亡に危機に至っている現状・全力を挙げて支えたい	○	サバ神学院とルーテル神学校の神学生相互の交流を支援。日本より元気があり、自立に向かう祈りの力を持っている。
東京池袋教会	×	十分な献金が難しい。サバには基本的設備が整っている	○	交流のみ/他の国の神学校へ支援に
市ヶ谷教会	○	サバ支援金の規定を設けない	○	時間の経過に伴い状況が変化、不都合な点は現状に合わせて
東京教会	×	もう支援しなくても良いとサバから言われたと聞いた		
むさしの教会	○	教会全体にお願いする(交流も)教会全体に広がる工夫	○	広報活動:ポスター/ニュースレター・ロゴマーク募集/連盟とは別に企画運営及び支援金の窓口を担う団体を作る
三鷹教会	○	2015年総会でサバは1人500円から自由献金となった	○	2015年総会で学生間の交流を今後検討していくことになったが
羽村教会	○	金銭だけでなく一生懸命している姿に学びたい。力強い国	○	将来は必要とされる国に少しずつ情報を集めながら/交わりできる恵み
八王子教会	×	会員が二人しかいないので続けにくい	×	
都南教会	○	個人的としては支援していきたい	○	続けても良いのでは
田園調布教会	○	総会での継続決議を見直す状況にはない/規模縮小しても続けるべき	○	献金方法・女性会員への理解と支援の意識を高める必要がある
雪ヶ谷教会	×	神学院支援はやめても良い	×	コロナ禍で女性会を開催できず高齢化で会費も集まらない
大岡山教会	○	サバの項目は残すが自由献金/女性会以外にも呼びかけたい		
大森教会	○△	自立できるならやめる/枠は設けず集まった分を支援	△	毎回出るので一旦立ち止まって、もう少し先を考える
蒲田教会	○×	「日本における教会の存続」を考えると面白いのでは	△	自分たちができることをやっていきたい。継続したい思いはあるが
藤が丘教会	△	円の価値が落ちている現状では外国への支援は難しい	△	連盟の決定に従う(2グループ隔週で礼拝/全員で集まらない)
日吉教会	△	コロナ禍で活動休止中/11月に意見を聞く/支援継続は難しい	△	教会全体の支援の中に海外キリスト教教育への支援なら良い
湯河原教会	○	教会全体の支援に広げる	○	広報活動:イーストから版掲載依頼/隔年チャーステイ/交流プログラム窓口設置(サバ神学院報告・宣教状況分かち合い)
飯田教会	×△	一律の支援には無理がある(献金中止・任意に)	○	交流継続:牧師不足の日本でサバ神学院卒業生に宣教を願う
松本教会	×	女性会だけでなく幅広く教会全体に呼びかけていく必要	○	続けたいが支援から交流に転換。支援金活用団体に、教会全体に呼びかける
諏訪教会	○	長期間支援してきたので違うところに。突然止められたら大変	○	時々結果を見る/訪問/出来るなら送り続ける/継続は大事



# アジア教会婦人会議日本委員会 2023.11.17 於 救世軍山室軍平記念ホール 「神の地球を守る私たち」 対面&オンライン一日研修会

## \*説教:ローマの信徒への手紙 8章20節~23節



被造物は虚無に服していますが、それは、自分の意志によるものではなく、服従させた方の意志によるものであり、同時に希望も持っています。つまり、被造物も、いつか滅びへの隷属から解放されて、神の子どもたちの栄光に輝く自由にあずかれるからです。被造物がすべて今日まで、共にうめき、共に産みの苦しみを味わっていることをわたしたちは知っています。被造物だけでなく、「霊」の初穂をいただいているわたしたちも、神の子とされる

## 細井 留美牧師 日本バプテスト連盟 東京北キリスト教会

こと、つまり、体の贖われることを、心の中でうめきながら待ち望んでいます。

\*山梨県山梨市生れ。大学時代にキリスト教と池 明観先生に出会う。朝鮮の歴史と文化を学ぶ中で、日本が韓国、朝鮮に行ったことへの罪悪感から日韓関係を悲観したが、その後韓国人クリスチャンとの出会いによって信仰に導かれ、日韓の和解に希望を与えられて、献身へと導かれる。2003年に西南学院神学部へ入学、2007年に日本バプテスト連盟東京北キリスト教会へ副牧師として赴任し、現在は牧師として働きを担っている。

## \*発題:「神の創造への小さな応答 ~Atutu Myanmarから学ぶ」 渡邊 さゆり牧師 日本バプテスト同盟 駒込平和教会



### 1.はじめに

発題の概要

聖書のことばをより深く聴く ■0201 ミャンマーにおけるクーデターの後 日本で起こっていること ■祈り会からアトゥトゥミャンマーの働きへ遣わされて ■あと1ミリオン進むメンタリティ CDMに学び実践する

### 2.聖書のことばをより深く聴く

1)創世記1章24節-31節 2)祝福と呻き ■創造の中に見出される「祝福」:現実社会の呻きへのレスポンス?

■人格的関連の中に存在する「神」「『そこにある』神は存在しない。神は、人格的関連の中に存在し、その存在は、人格における存在である。」(D.ボンヘッファー『行為と存在』(1931年)『選集11』p.137

■「我々にかたどり、我々に似せて、人を造ろう。」を熟考し、この言葉に生かされる。

### 3.0201ミャンマーにおけるクーデター後 日本に起こっていること

1)ヘイトの根は個々人の「呻き」に現れる。  
2)希薄な自覚:ヘイトクライムへの道を突き進んではいけない。進ませてもいけない。

### 4.ミャンマーを覚える祈り会から

アトゥトゥミャンマー支援の働きへ遣わされて

1)アトゥトゥミャンマーの設立とその動機

2)具体的な活動

3)祈り会を基盤とし続ける「キリスト教のみ」と限定しないがキリスト教が教える「祈り」の実践にこだわり続ける理由

### 5. 結び あと1ミリオン進むメンタリティ CDMに学び実践する

1)聖書マタイによる福音書5章38節-42節

「あなたがたも聞いておるとおり、『目には目を歯には歯を』と命じられている。しかし、わたしたちは言うておく。悪人に手向かってはならない。だれかがあなたの右の頬を打つなら、左の頬をも向けなさい。あなたを訴えて下着を取ろうとする者には、上着をも取らせなさい。だれかが、一ミリオン行くように強いるなら、一緒に二ミリオン行きなさい。求める者には与えなさい。あなたから借りようとする者に、背を向けてはならない。」新共同訳

2)考えてみよう 分断される「私たち」が「共存」し神の創造の業に復帰するには

「非暴力は人間に与えられた最大の武器であり、人間が発明した最強の武器よりも強い力を持つ。」

“Non-Violence is the greatest force at the disposal of mankind. It is mightier than the mightiest weapon of destruction devised by the ingenuity of man.” (マハートマ・ガンディー)

3)これから入管法の改悪が描くこれからの「多文化共生」社会について 祈り



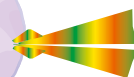
・有刺鉄線(イラスト):ヘイトはジェノサイドの種。有刺鉄線で囲まれた収容所に異質性を閉じ込めようとしているが実は加害者自身が有刺鉄線で身体を拘束されているのではないか。その両義性の黙想から。



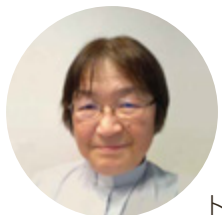
憎悪のブラミッド(出典:Anti-Defamation League)

\*大阪女学院高等学校卒(1989年)。関西学院大学神学部神学研究科博士課程後期課程単位取得退学。旧約聖書学専攻。神戸西伝道所、曾根キリスト教会にて牧会。現在、マイノリティ宣教センター共同主事、日本バプテスト同盟駒込平和教会牧師。国際基督教大学、ルーテル学院大学、東京家政大学非常勤講師。アジアの文脈から、批判的フェミニスト視座から聖書テキストの読み直し、女たちのエンパワメントに参与したいと願っている。「普天間ゲート前でゴスペルを歌う会」に連帯する戸塚平和ゴスペル行動」代表。アトゥトゥミャンマー支援共同代表。■主な近著:「祈りという非力な抵抗について」『福音と世界』2021年6月号/共著 訳書『ニューセンチュリーバイブル注解 哀歌』日本キリスト教団出版局 2021年12月

## 第6回 秋の女性の集い 対面・オンライン開催 2023.10.28 於 大岡山教会 「つながるⅡ/教会・連盟・総・大会・これからの女性会のあり方へ向けて」



※当日配付の集いプログラムをご参照くださいご希望の方にはデータ送付可能です



### 「召命～私が牧師として遣わされるまで」 内藤 文子牧師\*小岩教会

27才の時、保育士を辞め神学校に入学した時を思うと、まさに行く先を知らないで故郷を出た自分。神にすべてを委ねた旅のスタートでした。私が牧師(教職)となるまでを振り返りお伝えしたいと思います。神学校に入るまで、JELCには、日本人としては、お一人、門脇聖子先生しか、女性教職はいませんでした。それから20年あまり、女子神学生はいても、他教派に変わったリ、牧師にはならなかったり・・・

神学校で新吾さんとの出会い学生結婚して、夫婦で教職を目指しました。特に、女性会連盟は、励まし支えてくださいました。何より「女性教職の誕生」を悲願と掲げておられました。1991年卒業し、二人で按手を受けました。しかし派遣される時、「夫婦教職の制限」という規則が設けられました。今では考えられないのですが、\*夫婦教職は同居が原則で、任地を与えられるのは、夫婦1名のどちらか。\*もう1名は「教師資格者で、教区の要請により、説教などに派遣され働く」というものでした。夫・新吾師は希望教会(現在:なごや希望教会)の主任牧師となり、私は説教奉仕者として説教に呼んで頂きましたが、他牧師の休暇などに呼んで頂く、年3回ほどの奉仕のみでした。自分でも、「按手を受けた牧師に、任地がなく、働きは開かれないのか?」と問いかける日々。

さて、しかしこのおかしさにすぐ反応してくれたのは、東海教区教師会でした。「按手を受けた内藤文子牧師にも任地を与えるべきだ。」と、全国常議員会を通し、全国総会で協議され、次の年には「夫婦教職の制限」は撤廃され、夫の教会からの通いとなりましたが「柴田教会(現在:名古屋めぐみ教会)」の主任牧師として派遣されることとなりました。夫婦教職はJELCでは初めてでしたので、全国常議員会にも不安要素があったのでしょうか。しかし、任地が与えられ喜びいっぱい務め始めた私でした。それから、柴田教会～岡崎教会・刈谷教会(兼任)。38歳の高齢出産で男の子を産みました。三遠地区では、子どもを連れて説教奉仕に行くことも多かったのですが、各教会は暖かく迎えて下さり、礼拝中には託児もしてくださいました。その息子も現在27歳です!

また途中、人事がストップし、教会の牧師の働きが与えられ無いくことが起こりました。大変なショックでした。それは、7～8年続いたのです。復帰願いを出し続けました。時を待って、東海教区の「児童養護施設まきばの家」で保育士をしました。その後、栄光教会では、単身赴任で7年務めました。現在は東教区の小岩教会に着任して、4年目です。

振り返れば困難もありましたが、「主の山に、備えあり」主は必ず聞いて下さると信じて歩んだ道です。

### 「アンケート+現状・課題・方向性を自由に対話から」

「アンケート:今後の女性会の方向性について」のご説明

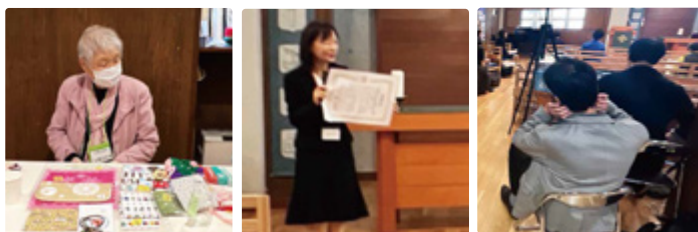
このアンケートは、10月28日に大岡山教会で開催される「第6回秋の女性の集い」の話し合いに向けたヒントとして、各教会女性会にご協力をお願いしたものです。回答の際に戸惑われた方がいらっしゃいましたら、お詫び申し上げます。

前回の「第5回春の会長会&女性の集い」では、「高齢化」「若い世代の不参加」「休会教会の増加」などの課題が挙げられました。一方で、多くの教会が豊かな奉仕活動を続けており、連盟会報による「聖書の学び」も広く活用されています。

2029年に創立100周年を迎える東教区女性会では、役員不足や休会の増加により、組織維持がますます難しくなっています。この状況を乗り越えるため、皆さまの知恵を集めることが今回の目的です。いただいた意見は、次期の方向性として東教区女性会総会や連盟総会の議案に反映される可能性があります。

「第6回秋の女性の集い」は、女性会の未来について自由に話し合う場です。各教会女性会としての率直なご意見をお寄せください。

\*当日は好天に恵まれて多くの方々が集い、昼食後の分団協議では地区毎の特性豊かな意見交換がなされた充実の時となりました。



#### 1.女性会の役割と未来

祈り、奉仕、福音の分かち合いを続ける。  
男女問わず参加できる形とは何かを含めて検討。  
高齢化や若者の減少に対応した柔軟な運営が必要。

#### 2.活動の改善

負担が一部の人に集中しないよう協力体制を構築。  
組織や規約を現状に合わせて簡素化していく。  
イースターやクリスマスなど特別なイベントで全員が交流。

#### 3.次世代への引き継ぎ

新しいリーダーや役員を育成し、次世代へバトンを渡す。  
子どもや若者が参加しやすい環境作りを進める。

#### 4.運営方法の見直し

ハイブリッド形式やオンラインを活用。  
教区や連盟とのつながりを整理し、効率化を図る。

#### 5.組織の変革

信徒全体の会として、男女問わず活動できる仕組みを検討。  
女性会の歴史を尊重しつつ、新時代に即した形へ発展。



# ❖監査報告【25期東教区女性会会計 2023年度決算・2024年度予算案】

2023年度(2023年1月1日～12月31日)東教区女性会会計決算、2024年度予算について監査結果をご報告いたします。

1. 監査日時:2024年1月5日(金)10時30分～14時00分
2. 大岡山教会
3. 監査人:成田 節子姉(第25回教区女性会総会選出)、天木 鈴子姉(第25回教区女性会総会選出)
4. 立会人:滝沢 峰子(教区女性会会計)、島田 洋子(教区女性会副会長)

## 収支決算・予算(案) 2023年度決算/2024年度予算(案)

東教区女性会 25期

単位:円

▪支援献金 内訳(2023年)

▪連盟送金 内訳(2023年)

費目	2023年度		2024年度	2023年度内訳
	予算	決算	予算(案)	
東教区会費	480,000	411,600	480,000	1,200円×343人
教区便り講読費	20,000	14,500	20,000	100×145部
教区活動支援献金	100,000	63,000	100,000	13教会
感謝献金	50,000	191,655	50,000	10教会 秋の女性の集いへの献金
コーヒーショップ	60,000	0	60,000	コロナ感染拡大のため中止
雑収入	500	19	500	普通・定期預金利息等
小計	710,500	680,774	710,500	
前年度繰越金	1,811,309	1,811,309	1,892,582	
収入合計	2,521,809	2,492,083	2,603,082	
教区便り	100,000	0	100,000	印刷・発送等
会議費	100,000	76,845	100,000	会場費、牧師、オルガニスト謝礼
交通費	200,000	38,852	200,000	役員会・会長会
教区交流費	100,000	0	100,000	
地区活動費	120,000	89,628	120,000	甲信地区 交通費
次世代育成支援金	80,000	60,000	80,000	TNG活動支援・神学生への手帳
通信事務費	20,000	9,379	20,000	事務用品・郵便・通信
慶弔費	10,000	0	10,000	
予備費	10,000	0	10,000	
支援献金	200,000	304,000	200,000	ほしくずの会・東京老人ホーム・ブラジル伝道・ベタニヤ/千葉ベタニヤホーム・ウクライナ支援・神学校・ルーテル学院
連盟総大会積立金	100,000	0	100,000	
東教区総会積立金	50,000	0	50,000	
コーヒーショップ	10,000	0	10,000	コロナ感染拡大のため中止
雑費	5,000	20,797	5,000	振込手数料等
仮受金	0	0	0	
小計	1,105,000	599,501	1,105,000	
次年度繰越金	1,416,809	1,892,582	1,498,082	
支出合計	2,521,809	2,492,083	2,603,082	

支援先	金額
ほしくずの会	30,000
東京老人ホーム	30,000
ベタニヤホーム	20,000
千葉ベタニヤホーム	20,000
ブラジル伝道	20,000
神学校	80,000
ウクライナ人道支援	52,000
ルーテル学院	52,000
合計	304,000

連盟会費	891,800
会報購読	82,200
連盟支援	70,500
感謝献金	65,000
サバ支援	130,500
リーストコイン	35,915
TNG	40,500
ACWC	5,000
合計	1,321,415

### 現金・貯金・残高

通常郵便貯金	2,163,104	次年度繰越金	1,892,582
定額・定期	500,000	積立金残高	800,000
現金	29,478		
合計	2,692,582	合計	2,692,582

(2023年12月31日 現在)

### 連盟総・大会 教区総会積立金

積立金会計	収入	支出	残高
連盟総・大会積立金	450,000		450,000
23年度積立			
教区総会積立金	350,000		350,000
23年度積立			

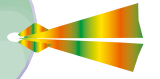
合計 800,000

\* 定期・定額預金(旧)19期 用いたまえ愛の主よ基金 500,000円



# 世界祈禱日オンライン東京集会 「パレスチナからのメッセージ」

2024.3.1 於 日本基督教団阿佐ヶ谷教会  
\*日本福音ルーテル教会女性会連盟 東教区女性会担当



## 「あなたがたに勧めます。…愛をもって互いに忍耐しなさい」 関野 和寛牧師\*津田沼教会

\*'24.03.末日まで



1980年生まれ、ルーテルむさしの教会出身、2006年按手。ルーテル東京教会、ミネソタ州アボットノースウェスタン病院コロナ病棟チャプレン、大阪、神奈川で複数のクリニック、ホスピスのチャプレン、ルーテル津田沼教会の働きを経て、2024年よりミネソタ州フェローシップジャパニーズチャーチ牧師に。趣味ロックバンド、キックボクシング。

### — ROCKERS OF THE HOLY LAND —

きれいごとでも何でもなし。聖地の現実はいよそ者が語れるほど単純ではない。イスラエル人の中にもユダヤ教徒、イスラム教徒、キリスト教徒が存在しているし、ユダヤ人の中にもヨーロッパ系ユダヤ人、アラブ系ユダヤ人、アフリカ系ユダヤ人などがある。

パレスチナ人も同じだ。パレスチナ人の中にはイスラム教徒だけではなくクリスチャンもいる。町の中ではモスクの近くに教会も建っている。実際の日常ではイスラム教徒とクリスチャンは敵対関係になく、共生できているのだ。何人だからどうか、何教徒だからどうと、国教で線引きして語れる問題ではなく、聖地全体にわたりすべての場所にすべての人がいる。モザイク状に人が生活しているのだ。

苦しい現実の話はイスラエルの人々から聞いた。彼らも、イスラエル兵がパレスチナ人に許されない横暴を働いていることを知っている。この70年の間にこの地で数えきれない人々が殺され、何百万人というパレスチナの人々が難民となっている。

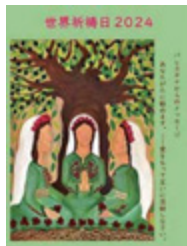
イスラエル・パレスチナ、世界の三大宗教の聖地であるはずのこの場所。この場所ほど争いによる人々の地が沁み込んだ大地はない。この場所ほど人々が神々と民族のイデオロギー

の名のもとに憎しみ合い続けている大地はない。けれども、今日もこの場所を聖地とするものは何であろうか？

ルーテル世界連盟前議長で友人のムニブ・ユナン牧師(パレスチナ人)が言った。「人は3年間病気で生きられる。3日食べなくても、3時間水を飲まなくても生きられる。でも、希望がなければ3秒も生きられない希望の火を灯そう。そして、みんなで共生すること、これが唯一の道だ」と。



\*パレスチナ/ガザの人々(子ども/女性/高齢者)の生きる場所を表した聖壇



### --式文:パレスチナの女性の証から--

■エルサレムに住むパレスチナ人キリスト者としてとしてさまざまな経験をする中で、わたしは地域社会でも、そして世界的レベルでも、それぞれの場所で生きているすべての人々と向き合うということを選びとってきました。両親の姿から、どんなに苦しく辛いときにも、他者と共に生きることの大切さを学びました。

■人生は楽なことばかりではありません。失敗することもあり、また迫害されることがや脅迫を受けることさえあります。けれども、わたしたちのコミュニティに心からの愛、理解しようとする心、やさしさ、謙遜、忍耐があれば、わたしたちはさらに強くなれるとかたく信じています。

■子どもの時からわたしは人生は実にもろく、平和は、何の保証もないことを学んできました。自分のルーツがある国を離れることもできましたが、ここに留まり、神がわたしを愛してくださったように、イエスの教えである「他者を愛すること」を選びました。

■私たちは主にあって正義と平和のために歩み祈り続けます。イスラエルのパレスチナ・ガザ地区侵攻を深く憂慮し、被災の只中にある人々のために連帯し祈りと支援を続けます。



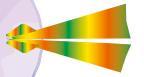
■当日会場の阿佐ヶ谷教会へ超教派185名の有志が参加しました。パレスチナ・ガザ地区、周辺地域の平和へ一同が祈りを合わせ、席上献金343,710円が献げられました。

■パレスチナ人道支援連帯献金の送付先:  
振込先: ゆうちょ銀行口座番号: 00170-2-429911  
加入者名: 「日本福音ルーテル教会女性会連盟」  
「パレスチナ人道支援献金」とご明記ください。

## 第26回東教区女性会総会

2024.2.10\*10:30~16:00  
於 ルーテル学院大学トリニティホール

『新しい歌を 主に向かって歌おう』 \*喜び・祈り・感謝とともに\*



- 役員報告: 会長/連盟役員/副会長/書記/文書/会計/会計監査報告・新役員紹介 ▶ 質疑応答・承認
  - 審議事項: 1. 女性会 連盟・東教区女性会のあり方の模索、そして新しいステージへ
    - 1) 規約第8条の変更(役員会/役員選出)、2) 規約第1条の変更(名称)、3) 今後の女性会のあり方検討委員会設置
    - 4) 5) 検討委員会構成メンバー / 協議期間・臨時総会開催、6) 内規1の変更(教区だより、発行回数)
  - 2. 第26期活動計画案、3. 2024年度予算案、4. 会長及び連盟担当役員を選出、5. 会計監査委員の選出
  - 案内・紹介: 1. 第26回連盟総・大会 開催案内、2. 協力委員の紹介と活動内容
- ▶ 上記項目内容が協議のうえ決議されました。詳細は総会報告書をお読みください。  
 ※ 上記項目内容のうち、特記事項として、今後の女性会のあり方検討委員会設置が承認されました。



25期 東教区女性会 会長: 神庭 靖子  
 女性会連盟 会長/文書: 八木 久美  
 副会長: 島田 洋子  
 書記: 牧野 正子  
 会計: 滝沢 峰子



26期 東教区女性会 会長: 和田 めぐみ  
 女性会連盟 会長: 谷口 和恵  
 副会長/書記: 綱 春子  
 会計: 小林 エイ子  
 文書: 石原 真由美

あなたのしよとすることを主にゆだねよ。  
 そうすれば あなたの計画は揺るがない。

箴言16章3節

### <26期へ祈りのバトンタッチ>

2021年の早春、コロナ禍に始動した25期は、3年間を通じて「女性会の今後のあり方」について多方面から問い続け、皆さまと共に考える場を作ってきました。難題への結論付けはできませんでしたが、それだけ女性会員の皆さまの思いが熱く誇り高いこと、そして積み上げられてきた歴史には新しいものに替え難い重みがあることを実感しました。それでも100年のうちに私たちの生きる社会は急速に変化しています。スリム化はもちろん、あり方の変更は避けられません。またこれらの課題は女性会のみならず、本教会や教区の課題と直結していることが、はっきりと見えてきました。

そうした中で、女性会のよいものは残していきたい。では「よいもの」とは何か。最後に残るものは信仰なのではないでしょうか。それ以外の「肉」から出ているものは勇気を持ってそぎ落としていくことで私たちは初めて神さまの下で、神さまにゆだねて、新しい歌を歌いつつ、同じ方向へ

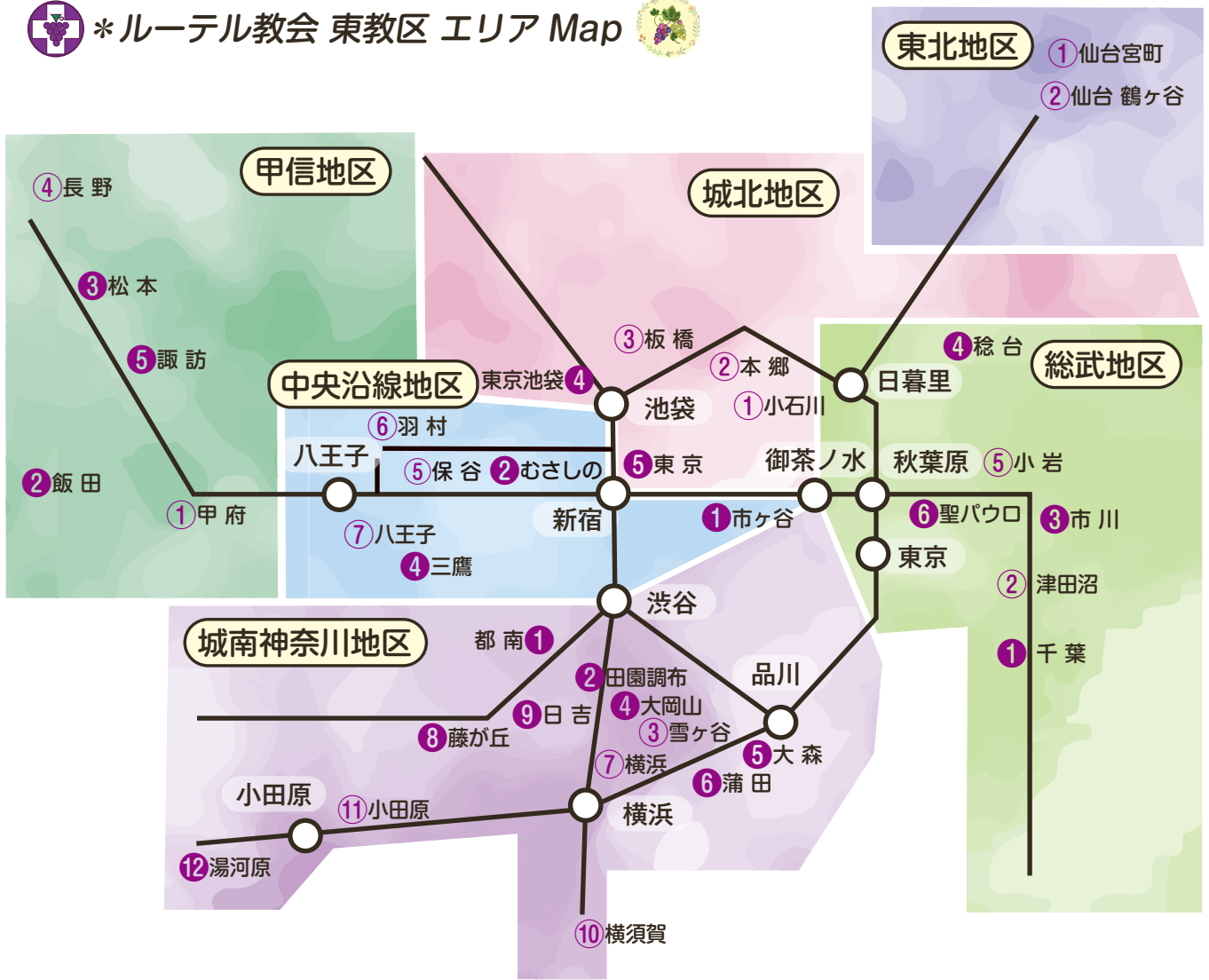
と歩いていくことができるのではないかと思います。

25期はコロナ禍という全く想定外の現実を目の前にして、ONE TEAMとして諦めず、何とか皆さまとつながっていく方法はないかと、神さまに祈りました。スローペースながら試行錯誤のうちに初めての試みを実践し、留まることなく活動し続けることができました。コロナ禍でできなかったことも多々ありましたが、コロナ禍だからこそできたこともありました。そこで得た新しいものを元に戻すのではなく、さらにできることを模索しつつ、「違うことを認め合うことの誰一人取り残さない、信徒の集い」でありたいと、これからの女性会のあり方が見いだされることを祈ります。以上をもち25期の役目を終えて、26期へ祈りと共にバトンタッチをしました。

これまでの皆さまのご協力に心より感謝いたします。さあ新しい歌を歌いつつ、ご一緒に歩んでまいりましょう。

<25期役員一同より>

 \*ルーテル教会 東教区 エリア Map 



2024 年度東教区女性会 参加教会(●)・休会教会(○) \*教会手帳記載順

- |  |  |  |   |  |
|--|--|--|---|--|
| <p><b>東北地区</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 仙台教会<br/>宮町礼拝堂</li> <li>② 仙台教会<br/>鶴ヶ谷礼拝堂</li> </ul> | <p><b>総武地区</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 千葉教会</li> <li>② 津田沼教会</li> <li>③ 市川教会</li> <li>④ 稔台教会</li> <li>⑤ 小岩教会</li> <li>⑥ 聖パウロ教会</li> </ul> | <p><b>城北地区</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 小石川教会</li> <li>② 本郷教会</li> <li>③ 板橋教会</li> <li>④ 東京池袋教会</li> <li>⑤ 東京教会</li> </ul> | <p><b>中央沿線地区</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 市ヶ谷教会</li> <li>② むさしの教会</li> <li>③ 三鷹教会</li> <li>④ 保谷教会</li> <li>⑤ 羽村教会</li> <li>⑥ 八王子教会</li> </ul> | <p><b>城南神奈川地区</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 都南教会</li> <li>② 田園調布教会</li> <li>③ 雪ヶ谷教会</li> <li>④ 大岡山教会</li> <li>⑤ 大森教会</li> <li>⑥ 蒲田教会</li> <li>⑦ 横浜教会</li> <li>⑧ 藤が丘教会</li> <li>⑨ 日吉教会</li> <li>⑩ 横須賀教会</li> <li>⑪ 小田原教会</li> <li>⑫ 湯河原教会</li> </ul> |
|--|--|--|---|--|

\*東教区は、5つのエリア/地区によって構成されています。各個教会は所在地の地区所属となり、東教区女性会は、教区教会行政の区分に連動して各地区を構成しています。

\*これからの信徒の連携は、東教区各個教会や地域/地区の成り立ちや歴史、そして現状への関心理解を深めて、それぞれの違いを感受しながら新しい教会/信徒の連携・協働を進めていくことで、従来の枠を超えた多様な可能性の広がりを見せてゆくのではないのでしょうか。

❖コロナ禍の3年間、役員と皆さまのエール/祈り/熱い思い、主の守りの内に歩むことができましたことに感謝いたします(八木)

# シャロンの花だより

25期 主題：新しい歌を主に向かって歌おう

・・・ 喜び・祈り・感謝と共に ・・・

「あなたのしようとすることを主にゆだねよ。

そうすれば あなたの計画は揺るがない」 箴言 16章3節



## 巻頭言

### 『驚き戸惑うときこそ』

むさしの教会牧師：李明生



ペトロがこれらのことをなお話し続けていると、御言葉を聞いている一同の上に聖霊が降った。割礼を受けている信者で、ペトロと一緒に来た人は皆、聖霊の賜物が異邦人の上にも注がれるのを見て、大いに驚いた。(使徒言行録10:44-45)

使徒言行録では、エルサレムで始まった最初の教会がイエス・キリストについての良い知らせ(福音)を人々と分かち合うにつれて、急速に変化していくことを物語ります。その変化の早さと大きさは、福音を伝えた最初の教会のメンバー達の予想を遥かに上回るものだったのではないのでしょうか。始まったと思ったらすぐに対応能力を越えるほど多くの人が集まってしまい、異なる言葉を用いる者達から食事の分配についての不平が出されたかと思ったら、迫害によって多くの者がこの最初の教会から各地に散らされてしまいます。そうかと思うと、自分達とは敵対し、自分達を攻撃していたはずの人物(サウロ=パウロ)がいつのまにか教会のメンバーに入り込んでいるのです。私であれば、もう何が何かわけがわからないと嘆きたくはないかと思えます。しかしその一方で、福音の喜びの分かち合いは確実に広がっていることを、使徒言行録は度々確認するのです。

使徒言行録ではペトロは積極的に異邦人宣教を実践する人物として描かれます。10章でペトロは意味不明の幻を見てしまい思案に暮れていると、突然カイサリアに住むコルネリウスのところへと招かれ、霊に言われるままに出かけてゆくこととなります。訳も分からないまま出会ったコルネリウスとペトロでしたが、ペトロが主イエス・キリストについて語り始めることによって事態は突然大きく動き始めます。

「ペトロがこれらのことをなお話し続けていると、御言葉を聞いている一同の上に聖霊が降った」(10:44)のです。そしてその場に一緒に来ていた割礼を受けた者達(つまりペトロの同胞達)は、「聖霊の賜物が異邦人の上にも注がれるのを見て、大いに驚いた」のでした。彼らにとっては、自分達の集団の外側にいる存在に聖霊が与えられることは、彼らの考えていた「当たり前」を大きく超え出たものだったのでしょう。ひょっとするとそれは、「なんでそんなことが許されるわけ？」と言いたくなるような、彼らにとっては好ましくない出来事だったのかもしれませんが。しかしその時確実に福音の喜びの分かち合いは広がっていることを、ここでもまた使徒言行録は語るのです。

使徒言行録が語る始まったばかりの教会の姿はあまりにも多様性に富んでいて、そこに集められた人々は、さらに増していく多様性に振り回されてばかりです。しかし、そこに集う者達が、大いに驚き戸惑う時に、福音の喜びの分かち合いが確実に広がっていくことを伝えています。逆に言えば、彼らの驚きと戸惑いが無かったならば、私達がイエス・キリストの福音を受け取ることも無かったとも言えるのです。

現代においても多様性の増加は確かに私達に大きな驚きと戸惑いをもたらすことがあります。しかし私達自身が驚き戸惑う時、それは、福音の喜びの分かち合いもまた、主なる神の導きによって広がっている時であることに気付きたいと思うのです。

—プロフィール—

1970年静岡県富士市生まれ。在日韓国人3世。2000年3月授接、京都教会および京都地区、三鷹教会、田園調布教会を経て、2023年4月よりむさしの教会。2023年5月よりJELC事務局長を兼任。趣味：読書(SF、ミステリなど)、マンガ鑑賞、音楽鑑賞、写真撮影、自転車(でも最近乗れていない…)